

科 目 名	現代社会論<各論> 「現代社会と関係する方法」		担当教員	渡 辺 泰 子		
			担当形態	単独		
テキスト	必要に応じプリント配布。	単位 数 授業形態	4 单位 (総論とあわせて)	演習	開講時期	通年

講義概要**■到達目標**

- ・他人と関心を共有する喜びを積み重ね、コミュニケーション能力を身につけ、実践できる。
- ・フィールドワークを通し、美的判断/価値基準の起源を理解し、自分の意見を対象化する。
- ・現代社会における効率優先、成果優先のスピードに惑わされぬ心の豊かさをもち、自分なりに検討できる。
- ・自分がどのように現代社会と関わっているのかを知り、これからの未来を築く1人としての自覚を持つ。

■授業の概要

- ・年間を通して「伝える・受けとる」演習を繰り返していく。演習は2人1組で、一方が(1)伝える、それでもう一方がそれを(2)聞きとり(3)描きとり、そして双方で(4)共有するという4ステップを基本とする。簡単な図形情報を伝えることから始め、徐々に写真や絵画等を用いることで伝達情報の濃度をあげていく。後期にはフィールドワークと連動させることで、「全員で各個人の作品の鑑賞経験を共有する」場をつくっていく。
- ・フィールドワークは、都内を中心とした美術館・博物館、天命反転住宅（三鷹）を予定。
- ・毎回授業内で書くレポートを最終的にまとめ、最終プレゼンテーションを行う。

■授業計画

第1回 演習計画・自己紹介の準備	第12回 フィールドワーク②
第2回 自己紹介	第13回 レポート発表
第3回 写真史 撮る／撮られる関係について	第14回 フィールドワーク③
第4回 写真 学内で写真実習	第15回 レポート発表
第5回 写真発表	第16回 フィールドワーク④
第6回 中間報告会準備	第17回 レポート発表
第7回 ゼミ内でテーマを設定する	第18回 最終プレゼンテーション
第8回 美術史①	第19回 総論にむけて準備①
第9回 美術史②	第20回 総論にむけて準備②
第10回 フィールドワーク①	第21回 授業のまとめ
第11回 レポート発表	

■準備学習

授業内で作成するレポートは最終プレゼンテーションに使用することとなる。常に年間の授業のつながりを自らに問い合わせながら、自分のレポートの振り返りを行っておくこと。

■評価方法

- ・レポート — 50%
- ・授業内での取り組み（討議への積極的な取り組み、発言内容等） — 50%

参考文献	特になし。	特記事項	自己負担 ・スケッチブック代（授業初日にて指定、次週より使用） ・写真実習のプリント代 ・フィールドワークでの出費（交通費/チケット代/食事等）
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修	幼 保	教養科目